

ワークショップ2 「消化管再生医療の基礎的・臨床的研究」

司会 磯本 一（鳥取大学医学部機能病態内科学）
穂苅 量太（防衛医科大学校内科学（消化器））

再生医療の臨床実用において、消化管領域は内視鏡や腹腔鏡を用いた直視下での移植が可能な利点がある。近年オルガノイド技術を応用し病態解明や創薬スクリーニングも可能となってきた。炎症性腸疾患等に起因する難治性潰瘍の治癒促進、ESD 後等の消化管狭窄や瘻孔・穿孔予防、消化管機能の回復等を目指した基礎研究、橋渡し研究や臨床研究（治験を含む）をひろく発表いただき今後の展開や様々な消化管疾患への応用を議論したい。